



慢性呼吸器疾患看護

救命救急センター7階 野口 あすか

毎日の吸入や内服、早期受診の重要性について

慢性呼吸器疾患とは？

COPD・喘息・間質性肺炎・誤嚥性肺炎
などのことです。



「最近、調子が良いから…」や、「息苦しくないし…」と処方されているお薬をやめると、症状がひどくなることがあります。

慢性呼吸器疾患の方は、継続した内服や吸入を行うことでより効果を得ることができます。

また、予定の受診日ではなくても、

- ①息切れがひどくなった
- ②痰の色が変わった（白や透明ではない）
- ③熱が出た

などの症状がある場合は、早めに受診することで入院せずに外来での治療が可能となる場合もあります。



毎日のお薬の継続と、
早めの受診を心がけましょう。

